

平成 27 年 10 月 5 日

愛知県知的障害者福祉協会  
会員事業所各位

愛知県知的障害者福祉協会  
会 長 川崎 純夫  
日中活動支援部会長 菅沢 豊

介護保険サービスへの移動・変更に関する実態調査協力をお願い(依頼)

清秋の候、会員各事業所の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より協会活動へのご理解ご協力いただき感謝いたします。

さて、この度当協会の日中活動支援部会におきまして、「利用者の加齢化高齢化」につきまして研修等行ってきましたが、私たち障害福祉現場において利用者の高齢化・加齢化の問題は年々深刻な課題となっております。そこで、標記実態調査を実施する事になりました。この調査は北海道知的障がい福祉協会が始め、他の地区会でも調査を行っていると聞いております。

愛知県知的障害者福祉協会日中活動支援部会としても、この課題に取り組んでいくためにも、まず実態を把握したいと考え、標記調査を実施したいと思います。

つきましては、業務多忙の折大変恐縮とは存じますが、別途実態調査のご協力を頂き、10月20日(火)までに下記のところへメールまたはファックスにて送付いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ・送付先】

青空の家 菅沢

〈電 話〉 0 5 2 - 7 3 6 - 2 2 5 5

〈メー ル〉 [gema93aozora@marble.ocn.ne.jp](mailto:gema93aozora@marble.ocn.ne.jp)

〈ファックス〉 0 5 2 - 7 3 6 - 6 8 9 9



**3介護保険サービスへの移動・変更がいつごろどのような経緯でなったのかを簡単にお書きください。**

例)No.1(複数の場合)平成26年4月より、障害福祉サービスの日中活動と介護保険のデイサービスを併用している。

例)No.2.転倒し骨折、車椅子の利用となった。家族からの希望で同一法人の老健に平成23年8月ごろ移動。

②65歳以上の利用者で、現在も貴事業所を利用している方は何人いらっしゃいますか?  
( )人

③現在貴事業所での課題が有りましたら(利用者の高齢化加齢化を含め)自由にお書きください。

貴事業所の名称	
種 別	
記 入 者	
連 絡 先	

ご協力ありがとうございました。

お手数をおかけいたしますが、H27年10月20日(火)までに、下記メールまたはfaxにてご返送いただきますようよろしくお願い致します。

✉ [gema93aozora@marble.ocn.ne.jp](mailto:gema93aozora@marble.ocn.ne.jp)  
fax052-736-6899

Q1 今までに障害福祉サービス事業所から介護保険の事業所に移動・変更(含む併給)した利用者がいましたか。

有 110名 無 67名

Q2 障害福祉サービスから移動・変更(含む併給)した利用者について、個人単位でお答え下さい。

① 移動時の年齢 平均 66.7歳

② 性別

男	51名
女	54名

③ 支援区分の内訳

A	2名
1	0名
2	4名
3	18名
4	17名
5	26名
6	18名

別表

利用していた(る)障害福祉サービスを下記の中から該当するものを選んで前表に番号をご記入下さい。

障害福祉サービスから移動・変更(含む併給)し、利用を開始した介護保険サービスを下記の中から該当するものを選んで前表に記号をご記入下さい。

障害福祉サービス			
領域	障害福祉サービス	略称	該当数
居・住 住ま まい サービス	① 共同生活援助	共生	6
	② 施設入所支援	施入	67
	③ 宿泊型自立訓練	宿自	0
	④ アパート・借家	アパ	7
	⑤ 家族同居	家同	13
日中活動	⑥ 療養介護	療介	0
	⑦ 生活介護	生介	90
	⑧ 自立訓練(機能・生活)	自立	0
	⑨ 就労移行支援	就移	0
	⑩ 就労継続支援A型	就A	0
	⑪ 就労継続支援B型	就B	4
	⑫ 地域活動センター	地セ	5
居宅介護等	⑬ 居宅介護	居介	5
	⑭ 重度訪問介護	重度	0
	⑮ 行動援護	行援	0
その他	⑯ 同行援護	同援	0
	⑰ 重度障害者等包括支援	重度	0
	⑱ 短期入所	短入	1
	⑲ その他 ( )	他	0

介護保険サービス			
領域	介護保険サービス等	略称	該当数
施設・住ま まい サービス	A 特別養護老人ホーム	特養	43
	B 介護老人保健施設	老健	17
	C 介護療養型医療施設	療医	8
	D アパート・借家	アパ	5
	E 家族同居	家族	6
居宅サービス	F 訪問介護	訪介	6
	G 訪問看護	訪看	1
	H 通所介護	通介	11
	I 短期入所サービス	短入	6
地域密着型 サービス	J 定期巡回・臨時対応型訪問	定巡	0
	K 介護看護	介看	0
	L 小規模多機能型居宅介護	小多	0
	M 夜間対応型訪問介護	夜訪	0
介護予防 サービス防	N 認知症対応型共同生活介護	認共	0
	O 介護予防通所介護	通介	7
	P 介護予防通所リハビリ	通り	2
介護予防 地域密着型 サービス	Q 介護予防訪問介護	訪介	0
	R 介護予防小規模多機能型	小多	0
	S 居宅介護	居介	0
	T 介護予防認知症対応型	認対	0
	U 共同生活介護	共介	0
	V その他( )	他	2

※応益負担額の欄には、移動・変更後、応益負担が発生した場合は、障害福祉サービスの利用者負担金との差額(増額分)を記入して下さい。

Q3 65歳以上の利用者で、現在も貴事業所を利用している方は何人いらっしゃいますか?

65歳以上の現在利用者 421名

介護保険サービスへの移動・変更に関する実態調査

愛知県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会

項目	a	b	c	d	年齢	e	f	支援区分					移動・変更した介護保険サービスの利用内容									
								g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
NO	部会	圏域	異動・変更利用の有無	氏名	移動時の年齢	性別	ある人のみ記入	居住形態	日中活動	居宅介護	その他	介護認定区分	施設サービス・住まい	居宅サービス	地域密着型サービス	介護予防サービス	地域密着型介護予防サービス等	障害福祉サービスとの併給の有無	応益負担額(円)	65歳以上の利用者		
1	児童発達	名古屋	無																	0		
2	児童発達	東三河南部	無																	0		
3	児童発達	西三河北部	無																	0		
4	児童発達	名古屋	有	A	66	女	3			居介										46		
5	支援施設	名古屋	有	A	73	女	6	施入	生介		短入		特養						無し	14		
6	支援施設	海部	無																	0		
	支援施設	尾張中部	有	A	70	女	4	施入	生介			不明	特養						無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	B	65	男	4	施入	生介			不明	特養						無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	C	64	女	4	施入	生介			不明	特養						無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	D	66	女	4	施入	生介			不明	特養						無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	E	65	女	3	家同	生介			不明	家族	通介					無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	F	65	男	2	家同	生介			不明	アバ	通介					無し	不明		
	支援施設	尾張中部	有	G	68	男	4	家同	生介			不明	アバ	通介					無し	不明		
	支援施設	尾張東部	有	A	63	男		施入	生介			不明	老健						無し	3		
	支援施設	尾張東部	有	B	70	女	3	施入	生介			不明	老健						無し			
	支援施設	尾張北部	有	A	55	男	A	施入	生介			4	特養							0		
	支援施設	尾張北部	有	B	65	男	A	施入	生介			4	特養									
	支援施設	尾張北部	有	C	66	女	4	施入	生介			5	特養									
	支援施設	尾張北部	有	D	60	女	5	施入	生介			5	特養									
	支援施設	尾張北部	有	E	54	男	6	施入	生介			不明	特養									
	支援施設	尾張北部	有	F	74	男	4	施入	生介			4	特養									
	支援施設	尾張北部	有	G	65	女	5	施入	生介			不明	特養									
	支援施設	尾張北部	有	H	69	女	4	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	I	75	女	5	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	J	71	女	5	施入	生介			2	特養									
	支援施設	尾張北部	有	K	74	女	5	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	L	65	男	4	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	M	60	男	6	施入	生介			不明	特養									
	支援施設	尾張北部	有	N	50	男	5	施入	生介			不明	老健									
	支援施設	尾張北部	有	O	75	男	4	施入	生介			2	特養									
	支援施設	尾張北部	有	P	62	男	6	施入	生介			不明	特養									
	支援施設	尾張北部	有	Q	67	男	3	施入	生介			2	特養									
	支援施設	尾張北部	有	R	65	男	3	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	S	67	男	3	施入	生介			2	特養									
	支援施設	尾張北部	有	T	64	女	6	施入	生介			不明	療医									
	支援施設	尾張北部	有	U	67	男	6	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	V	74	男	3	施入	生介			3	特養									
	支援施設	尾張北部	有	W	62	男	4	施入	生介			2	特養									
10	支援施設	尾張北部	無																	29		
11	支援施設	尾張北部	無																	8		
12	支援施設	尾張北部	無																	18		
13	支援施設	尾張北部	有	3名?																1		
14	支援施設	知多半島	無																	0		
	支援施設	知多半島	有	A	70	女	5	施入	生介			4	特養						無し	12		
	支援施設	知多半島	有	B	70	男	5	施入	生介			5		短入					不明			
	支援施設	知多半島	有	C	62	女	5	施入	生介			4		短入					不明			
	支援施設	知多半島	有	D	64	女	5	施入	生介			不明	家族	短入					不明			
	支援施設	知多半島	有	E	72	女	5	施入	生介			4	老健						無し			
	支援施設	知多半島	有	F	58	男	5	施入	生介			不明	老健						無し			
	支援施設	知多半島	有	G	51	女	6	施入	生介			6	特養						無し			
	支援施設	知多半島	有	A	61	女	6	施入	生介				老健						無し	14		
	支援施設	知多半島	有	B	51	男	6	施入	生介				特養						無し			
17	支援施設	西三河北部	有	A	64	女	6	施入	生介			5	特養						無し	8		
18	支援施設	西三河北部	無																			
	支援施設	西三河南部東	有	A	66	女	5	施入	生介				特養						無し	26		
	支援施設	西三河南部東	有	B	74	女	4	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	C	70	男	4	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	D	74	女	4	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	E	76	女	5	施入	生介				老健						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	F	72	男	4	施入	生介				老健						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	G	86	男	5	施入	生介				老健						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	H	63	男	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	I	63	男	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	J	81	女	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	K	80	男	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	L	69	男	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	M	57	女	5	施入	生介				療医						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	A	61	男	6	施入	生介				特養						無し	30		
	支援施設	西三河南部東	有	B	87	女	5	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	C	60	女	5	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	D	82	女	6	施入	生介				特養						無し			
	支援施設	西三河南部東	有	E	75	女	4	施入	生介				老健						無し			
21	支援施設	西三河南部東	無																	7		
	支援施設	西三河南部東	有	A	65	女	5	施入	生介			2	老健						無し	¥0		
	支援施設	西三河南部東	有	B	66	女	5	施入	生介			2	老健						無し	¥0		
23	支援施設	東三河南部	無																	9		
	支援施設	東三河南部	有	A	65	男		施入	生介				特養						有り	¥3,000		
	支援施設	東三河南部	有	B	73	男		共生	生介				老健						有り	¥0		
25	支援施設	東三河南部	無																	7		
26	支援施設	東三河南部	有	A	82	男	6	施入	生介				療医						無し	8		
27	支援施設	知多半島	有	A	67	女	6	施入	生介			3	特養						無し	¥24,000		
28	支援施設	東三河南部	無																	14		
	支援施設	尾張西部	有	A	57	女		施入					老健							4		
	支援施設	尾張西部	有	B	58	女		施入					老健									
	支援施設	尾張西部	有	C	70	女		施入					老健									
	支援施設	尾張西部	有	D	66	女		施入					老健									
30	日中活動	海部	有	A	92	男		家同	地セ								他	無し	15			
	日中活動	海部	有	B	81	男		アバ	地セ								通介	有り	¥16,000			

項目	a	b	c	d	年齢	e	f	支援区分					移動・変更した介護保険サービスの利用内容									
								g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
NO	部会	圏域	異動・変更利用者の有無	氏名	移動時の年齢	性別	ある人のみ記入	居住形態	日中活動	居宅介護	その他	介護認定区分	施設サービス・住まい	居宅サービス	地域密着型サービス	介護予防サービス	地域密着型介護予防サービス等	障害福祉サービスとの併給の有無	応益負担額(円)	65歳以上の利用者		
30	日中活動	海部	有	C	58	女		家同	地セ							通り		有り	¥3,000			
	日中活動	海部	有	D	67	女		家同	地セ							通り		有り	¥5,000			
	日中活動	海部	有	E	72	男		家同	地セ					通介				有り	¥2,000			
31	日中活動	東三河南部	無																	3		
32	日中活動	西三河南部西	無																	0		
33	日中活動	西三河南部西	有	A	65	女	2	家同	生介			要支援1				通介		有り		3		
34	日中活動	西三河北部	無																	0		
35	日中活動	西三河北部	無																	0		
36	日中活動	西三河北部	無																	1		
37	日中活動	東三河南部	無																	2		
38	日中活動	東三河南部	無																	0		
39	日中活動	知多半島	有	A	68	男	6		生介			4	家族	訪介、短入			有り	¥0	1			
40	日中活動	知多半島	無																	8		
41	日中活動	知多半島	有	A	73	男	6	共生	生介	居介		5		訪介			有り	¥13,000	1			
42	日中活動	西三河南部西	無																	0		
43	日中活動	西三河南部東	無																	0		
44	日中活動	尾張東部	無																	0		
45	日中活動	尾張東部	無																	0		
46	日中活動	尾張北部	無																	0		
47	日中活動	尾張東部	無																	0		
48	日中活動	尾張中部	無																	0		
49	日中活動	尾張北部	無																	1		
50	日中活動	名古屋	有	A	55	男	3	家同	就B			2	家族	訪看		通介	他	有り	¥13,000	0		
51	日中活動	名古屋	無																	0		
52	日中活動	名古屋	無																	0		
53	日中活動	名古屋	無																	2		
54	日中活動	名古屋	無																	0		
55	日中活動	名古屋	無																	0		
56	日中活動	名古屋	無																	0		
57	日中活動	名古屋	無																	1		
58	日中活動	名古屋	無																	0		
59	日中活動	名古屋	有	A	67	女	3		生介					特養				無し	¥0	1		
60	日中活動	名古屋	無																	15		
61	日中活動	名古屋	無																	0		
62	日中活動	名古屋	有	A	44	男	6	家同	生介			4	家族					有り		0		
63	日中活動	名古屋	無																	0		
64	日中活動	知多半島	有	A	73	男	6	共生	生介	居介		5		訪介			有り	¥13,000	1			
65	日中活動	知多半島	無																	0		
66	生産活動	名古屋	無																	1		
67	生産活動	名古屋	無																	1		
68	生産活動	名古屋	無																	0		
69	生産活動	名古屋	無																	0		
70	生産活動	名古屋	無																	0		
71	生産活動	海部	有	A	69	女									短入					2		
72	生産活動	尾張東部	無																	2		
73	生産活動	知多半島	有	A	70	女		家同	就B			1		通介			有り		3			
74	生産活動	知多半島	無																	0		
75	生産活動	尾張西部	有	A	65	男	3		生介			1			通介		無し		0			
76	生産活動	尾張西部	無																	0		
77	生産活動	尾張北部	無																	0		
78	生産活動	知多半島	無																	1		
79	生産活動	知多半島	無																	0		
80	生産活動	西三河北部	無																	0		
81	生産活動	西三河北部	無																	8		
82	生産活動	西三河南部東	無																	1		
83	生産活動	西三河南部東	無																	2		
84	生産活動	西三河南部東	有	A	65	男		家同	生介											1		
85	生産活動	西三河南部西	有	A	47	女	4		就B					通介				無し	¥0	0		
86	生産活動	西三河南部西	有	A	67	男	2	共生	生介			3	特養					無し		1		
87	生産活動	西三河南部西	有	A					生介						通介			有り		4		
88	生産活動	西三河南部西	無																	0		
89	生産活動	西三河南部西	有	A										特養				無し		1		
	生産活動	西三河南部西	有	B					就B						通介			無し				
	生産活動	西三河南部西	有	C					生介						通介			無し				
90	生産活動	東三河南部	有	A	63	男	3		生介					通介			有り	¥12,000	4			
91	生産活動	東三河南部	有	A	66	女	3	家同	生介			要支援1	家族	短入			有り	不明		1		
92	生産活動	東三河南部	無																	4		
93	生産活動	東三河南部	無																	2		
	生産活動	東三河南部	有	A	60	女								通介						7		
94	生産活動	東三河南部	有	B	51	男			生介					通介								
	生産活動	東三河南部	有	C	68	女			生介					通介								
95	生産活動	尾張西部	無																	2		
	生産活動	知多半島	有	A	65	男	3	アバ	生介			1	アバ				有り	¥0	1			
	生産活動	知多半島	有	B	65	女	3	アバ	生介				アバ				有り	¥0				
	生産活動	知多半島	有	C	65	女	2	共生	生介								有り		67歳で他界			
	生産活動	知多半島	有	D	65	女	3	アバ	生介					訪介			有り	¥5,000				
97	生産活動	知多半島	有	A	69	男	3	アバ	生介											2		
	生産活動	知多半島	有	B	67	女	3	アバ	生介													
98	生産活動	名古屋	無																	3		
99	地域支援	名古屋	有	A	70	男	5	共生	生介	居介		3					有り	¥500		1		
100	地域支援	名古屋	無																	3		
101	地域支援	名古屋	無																	0		
	地域支援	名古屋	有	A	72	男			生介							通介		有り		1		
	地域支援	名古屋	有	B	62	女																
103	地域支援	尾張東部	無																	0		
104	地域支援	名古屋	無																	0		
105	地域支援	海部	無																	1		
106	地域支援	西三河北部	無																	1		
107	地域支援	尾張東部	有	A	65	男	3	アバ		居介				アバ	訪介			無し	¥0	0		

Q4 介護保険サービスへの移動・変更がいづごろどのような経緯でなったのかを簡単に書きください。

1	65歳到達による介護保険への移行。
2	認知症の症状があらわれたため。
3	歩行不安定、介護が必要な状態となったため。
4	排尿機能の低下により、家族の負担が増大したため。
5	転倒、骨折が続き車椅子の利用となったため家族からの申し出により介護保険施設へ移行。
6	施設廃止に伴い、利用者の適宜加通を再検討し、介護保険適用となる利用者の移行を積極的に進めた。
7	転倒、骨折に伴い車椅子生活になる。施設では危険なため特養へ移行。
8	転倒、骨折して体力の低下。日中活動に参加出来なくなり特養へ移行。
9	嚥下、高齢のため歩行不安定、強度行動障害の他害のある方へ寄って行ってしまうため特養へ移行。
10	転倒が増え、車椅子利用となり特養へ入所。
11	立位困難のため、車椅子利用となりロングシート。
12	歩行困難のため、車椅子利用となりロングシート。
13	施設でのケアが難しかったため、老健のショートステイを利用しながら在宅。
14	立位困難のため、要車椅子利用となり老健に入所。
15	施設でのケアが難しかったため、老健に入所。
16	立位困難により、車椅子利用となり若年性痴呆症もあるため特養へ入所。
17	車椅子利用のため、高齢者の施設の方が本人も落ち着いて過ごせるため。
18	寝たきりの状態になったため、車椅子利用となり特養へ移行。
19	認知症があらわれて、車椅子利用となり特養へ移行。
20	低ナトリウム定置と発熱のため緊急入院、そのまま老健へ移行。
21	腫瘍炎から腸閉塞を繰り返す中、肝硬変を患って病院より戻れなくなる。(療養型医療施設)
22	頻回にイレウスを繰り返すようになり、施設での生活が困難となり療養型医療施設へ移行。
23	ダウン症であり認知症も進行したため、家族の要望により特養へ移行。
24	大脳部骨折により歩けなくなる。成年後見人と相談し、特養へ移行。
25	骨髄小脳変性症の疾患があり、2号で介護認定を受ける。家族の希望により特養へ移行。
26	加齢により動けなくなる。家族の希望により特養へ移行。
27	大脳部骨折により歩けなくなる。家族の希望により老健へ移行。
28	施設入所からショートに切り替え、介護認定を受け介護保険ショートと併用し移行した。
29	ホーム利用中から福祉用具レンタルのため介護保険を併用。老健の空きを年ほど待ち入所。
30	吐血により救急搬送され入院。医療行為が必要となり介護医療型医療施設へ移行。
31	相談支援が機能し始めたのを機に、特養へ移行。
32	高齢化に伴い、嚥下機能が低下し誤嚥のため入院。地域包括・家族・本人の希望により老健へ移行。

33	脳梗塞を発症し、地域活動支援センターを利用。入浴やリハビリを目的に通所介護を併用利用。
34	脳内出血を発症し、介護予防通所介護を利用。リハビリを目的に地域活動支援センターを併用利用。
35	脳梗塞を発症し、地域活動支援センターを利用。リハビリを目的に通所介護を併用利用。
36	加齢に伴い、地域活動支援センターを利用され、その後通所介護を併用利用。
37	入院後、老人介護施設に入所し自宅での生活が困難と判断し特定施設にて生活する。
38	65歳時に介護認定を受け要支援がついたため、老人デイと生活介護を併用利用。
39	高齢のため兄弟の希望で特養へ移行。
40	兄弟が認知症の母との介護疲れを感じ、介護保険のショートステイを併用。
41	若年性痴呆症と診断され、2号被保険者となり介護保険のデイサービスを併用。特養に申込み中。
42	身体介護の必要性が生まれ、自宅生活からホーム生活への移行に伴って介護保険サービスの利用が始まる。
43	全身性エリテマトーデスを発症し入院。入院中、補尿病を併発し、介護保険を使い住宅改修。居宅介護を利用。その後、就労B型を利用し介護保険利用はなかったが大脳部骨折により入院しリハビリ段階で介護保険を利用。
44	火・水・金に当事業所を利用。月・水・土は同町内にある特養の通所介護を利用。(入浴を目的)
45	歩行不安定と自閉症の方が多い当施設では生活に危険が伴うため、相談支援と地域包括支援センターと協議の上、介護保険のデイサービスを利用する。
46	40台半ばより認知症がみられ、作業が困難になる。事業所が生活介護に移行する際、市外の通所介護事業に移した。
47	転倒し骨折したり、両耳が聞こえない状態になってきたため、家族の希望で日中活動・GHの契約を解除し、特養へ移行。
48	転倒骨折により車椅子利用となり、特養へ移行。
49	行政がB型の受給者証を止める方針を打ち出し介護デイに移行。週2回利用、後は自宅。
50	65歳になり、行政から生活介護が打ち切りになり介護デイに移した。
51	転倒骨折により入院。その後、週3回は介護保険サービスを利用し、週5回は当事業所を利用。
52	65歳になった時点で介護保険に移行したが、支拂度が低いため当事業所と介護保険サービス・短期入所を利用している。
53	ダウン症の女性の方で64歳より認知症のため、地域のデイサービスへ移行。
54	介護保険該当の腰痛のため、デイサービス併用。
55	67歳の女性の方で疲れやすくなったため、デイサービス併用。
56	65歳を迎え要支援1になり、居宅介護サービスを介護保険に移行。生活介護は継続利用。
57	認定調査の結果「非該当」になり、生活介護から就労継続B型に移した。
58	頸椎症骨折のため、入院。要介護3の認定を受け、車椅子のレンタルを開始。
59	暴力・便失禁・転倒などの変化が見られたため、介護保険を受け現在は生活介護と介護保険のデイを併用。
60	35歳の頃リウマチを発症する。介護保険サービスが使える年齢になり、申請した。
61	65歳を迎え、障害福祉サービスの居宅介護から協議の結果、介護保険サービスの訪問介護に移した。

高 齢 化 に 伴 う 課 題	
Q5 現在事業所で課題が有りましたら(利用者の高齢化加齢化を含め)自由にお書きください。	
1	加齢による転倒や嚥下事故が増え、健康管理が難しくなっている。
2	高齢者対応の専門的技術を持った職員の配置と適した環境の整備、介護保険施設との連携。
3	高齢者と行動障害のある方との共同生活は危険が多い。
4	誤嚥性肺炎が増えている。
5	認知機能が低下する人がいるが、薬の副作用なのか認知症なのか判断しにくい。
6	入院した際、医者から家族へ連絡をとるよう言われるが、親が高齢のため病院に来られない。
7	救命治療、延命治療について問われたとき施設長・看護師でも判断が付かない。
8	車椅子や歩行器を使用している人が増えた。
9	車椅子や歩行器を使用している人と自分で動ける方が一緒に活動や外出を行うため、ペースに差が出てしまう。
10	介護保険適用外施設のため、施設のある所が受給者証のある市町村かどちらで介護認定を受ければ良いかわからず施設移行が進まない。
11	介護認定を受けてから3～6ヶ月で移行しなくてはならないが、すぐに次の施設が見つかる保障がない。
12	ハード面が高齢化に対応していない。(居室やE.V.廊下、ドアの幅が車椅子に対応していない等)
13	入所施設は介護保険サービスを利用したいと考えていたとしても認定調査を実施してもらえない。
14	適用外施設のため、介護施設への待機登録すらできなくなった。
15	介護施設において、知的障害の理解が乏しい。
16	介護施設において、現在施設を利用しているのであれば移行する必要はないのではどの話もある。
17	高齢者に対する介護技術が職員間で差があり、職員の資質向上が課題である。
18	本人の高齢化に伴い家族も高齢化している。制度への理解や身元引受人としての責務が果たせなくなったり、身寄りがいなくなる事もある。
19	医療機関への受診回数が増えたが、家族の協力も期待できないため、職員が付き添い人員配置が手薄になる。
20	利用者が高齢化に伴い、車椅子の利用も多くなり職員の介護負担も大きくなっている。
21	医療ニーズの増大。(通院の頻度等)
22	行動障害のある方とのニーズの差。
23	移行先の介護保険施設で受け入れてもらえない。
24	どのタイミングで介護保険施設へ移行すべきか。(本人の意志確認が難しい場合、家族、職員ともに悩んでしまう)
25	高齢者向けの食事形態を充実させていくことが必要。
26	現実的に何の計画も進めていない事が課題。
27	高齢障害者に対して特化したプログラムの提供。
28	医療との上手な連携の取り方。
29	介護保険の対象になると、障害福祉サービスでは短期入所が利用できず、慣れないスタッフや高齢者との生活となるため、当事者には負担となる場合がある。
30	多弁、ぼーっとしている、怒りやすいなどの症状が強くなったように思われ、周囲との摩擦が生じる。
31	知的障害と認知症の差、薬物治療などが難しい。
32	障害福祉サービスのグループホームを利用しながら、さらに介護保険サービス利用で1割負担が生じると年金範囲内でのやりくりが難しい。
33	家族の高齢化に伴い、送迎を希望する方が増えてきた。
34	重度の障害者故に高齢者のサービスに移行できるか不安がある。

35	介護保険サービスへ移行する際、本人に合うサービスがなかったり、事業所の受け入れが難しい場合、活動の場をどのよに担保していくか。
36	医師に相談しても、症例が少なく高齢化対策への情報が足りない。
37	総合支援法から介護保険へ移行した方がいいケースの事例とは・・・。
38	成年後見制度について話をしたが、抵抗を感じている人が多い。
39	高齢化による理解力の低下+ダウン症+認知症と思われる行動障害がある利用者があり、両親も高齢で本人の現状への理解が難しく、本人のあるがままを受け止められず叱責が激しく、より本人への悪影響が生じ、調整の支援に悩んでいる。
40	特別支援学校の卒業生の入所希望もあり、定員超過の可能性があるため年齢制限を設ける必要がある。
41	介護保険サービスへ移行するタイミングはいづれが決めべきなのか。
42	保護者の高齢化に伴い、入浴支援を希望する方が増えている。
43	専門的な介護予防のメニューを学ぶ必要がある。
44	食事の提供に対してどこまで対応できるか。
45	就労継続支援B型における定年制の導入。(現在は定年制を設けていないため、本人が望めばいくらか高齢になっても契約更新している)
46	高齢化に伴い、意思疎通が図れず苦労している。
47	介護保険サービスと障害福祉サービスを併用利用したいと思った場合、利用計画をケアマネが作成するのだが、面倒との事でやりたがらず断られる。
48	高齢で体調不良等があっても訴え等がなく、気づけないことがある。
49	新たな入所施設はつくらないという流れできているが、高齢知的を対象とした入所施設は必要ではないか。
50	認知症により、感情のコントロールができなくなってきた。
51	介護保険の割負担が出る上障害年金だけではGHの費用も難しくなるため、生活保護になっってしまう。

そ の 他 の 課 題	
52	現場の業務量に対して職員が足りていない。増員させたいが、収入に余裕がない。
53	入所では夜間に看護スタッフがいらないため、職員の不安は大きい。
54	通所では看護スタッフの確保が難しく、利用者の受け入れを制限している状態が続いている。
55	介護保険より切迫している問題として医療ケアがある。
56	30年前に建てられた施設のため、個人の空間が狭小である。
57	女性の交代勤務者が増えない。
58	利用者の体調不良時の判断が難しい。
59	医療ケアが必要になった際、支援者配置上限界がある。
60	重度の行動障害がある人が多いため、研修等を受講しなければならず、受講人数の調整や費用負担が大きい。
61	年齢的に若くても、歩行状態の悪化が更なる。
62	歩行が困難な方へ提供できる活動が少ない。
63	利用者の状況に合わせた設備(エアフリー化や機軸浴槽等)がないため、職員の負担が増えている。
64	個々の状況に合わせて日課が必要になってきている。
65	施設内で身体機能の訓練を行う環境が整っていない。
66	医療的ケアが必要となった利用者の施設移行がスムーズに行う事ができるか。
67	急な入院、死亡などにより、家庭生活への支援が必要なケースが増えている。
68	強度行動障害の方が増え、マンツーマン対応が必要で利用者が増えたりある。
69	家族会への関わり方や意識など、親御さんとご兄弟で隔たりがある。
70	土日祝日・毎月の日中対応。(グループホームより)